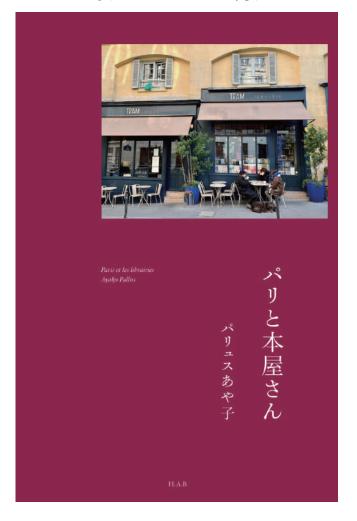
映画化で話題の著者の 初エッセイ集



「ふらりと入った本屋で 偶然出会った一冊を 手に取ってみる。 一その瞬間はどの国にあっても 至福に変わりない。」

パリ郊外に住む日本人作家による本屋めぐり。 フランスならではの四季折々のイベントや、ストライキ、コンフィヌモン(ロックダウン)といった社会的な動きを経ながら少しずつ変わっていく生活を、本屋を中心に「移民」独自の視点でやわらかく、ときに鋭く描く。エッセイと書店インタビューに加え、書き下ろし小説「Yousra」を収録。

★著者デビュー小説 『隣人 X』映画化!

上野樹里と林遣都の共演で、 2023年12月公開。 本書が映画公開時点での最新作 となります。

『隣人 X』は 2023 年 10 月に映画カバーで文庫化。 あわせてご展開ください。

パリュスあや子

神奈川県生まれ、フランス在住。広告代理店勤務を経て、東京藝術大学大学院映像研究科・映画専攻脚本領域に進学。「山口文子」名義で歌集『その言葉は減価償却されました』(二〇一五年)上梓、映画『ずぶぬれて犬ころ』(二〇一九年、本田孝義監督)脚本を担当。二〇一九年『隣人X』で第十四回小説現代長編新人賞を受賞し、二〇二三年「隣人X 疑惑の彼女」のタイトルで映画化。他の著作に『燃える息』(講談社)。

取次:どの取次からでもご注文いただけます(返品条件付注文扱い、返品了解:ツバメ出版流通・川人)

▶ご注文先 ツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922 TEL:03-6715-6121 mail:info@tsubamebook.com

番線印 ご注文数 エイチアンドエスカンパニー(H.A.B) 11 月中旬搬入予定 パリと本屋さん 著:パリュスあや子 ¥1,950+税 232頁 ISBN 978-4-910882-05-5 C0095 B6判変形 上製

[好評既刊]台湾書店百年の物語 書店から見える台湾 編:台湾独立書店文化協会 訳:フォルモサ書院 ¥2200円+税 978-4-9907596-9-8 各年代における中心的な書店から、台湾の社会状況とその中で書店が果たした役割を照射する。 ご担当: 様 台湾の書店、文化の百年史。